



ガハテ村通信

篠山ナマステ会 兵庫県篠山市住山420 TEL (079) 595-1365 振替口座 00930-6-29629



大衆の力で勝ち取った平和

街角に笑顔が戻る

ネパールでは二〇〇二年にギャネンドラ国王が内閣と下院を解散し、自ら内閣を組織して直接統治を行い、独裁政治を行ってきたが、主要七政党は二〇〇五年十一月以降、マオイストと一定範囲で連携しながら、大規模な抗議デモやゼネストを継続、弾圧する国軍の間に多数の死傷者が出るなど混乱が続いていた。

大衆運動を力で収拾できなくなった国王は、二〇〇六年四月二十二日と二十四日にテレビ演説を行って、行政権委譲と解散された下院の復活と招集を発表。政党は二十五日、国王声明を受け入れてゼネストの終結を発表し、マオイストも停戦に合意した。その後、各政党はマオイストを交えて、総選挙の時期と方法、憲法改正の素案作りなど、課題が山積する政権協議が続けられている。

今、首都カトマンドゥの街角には人々の笑顔があふれ、商品があふれ、車があふれ、車の隙間を縫って若者のバイクが雄叫びを上げる。

自らの力で勝ち取った平和が、民衆の自信となって、街が光り輝いている。

もう、何人といえども歴史の歯車を逆回転させることは出来ない。

マオイストも、民衆に銃口を向けての革命は成立しない事を知った。

この平和が、かりそめではなく、ヒマラヤの万年雪のように、いつまでも続く事を祈っている。(和)

セティデイビ小学校を視察

授業を参観しました



去る七月二十三日より久しぶりに平和を取り戻したネパールに飛んで、セティデイビ小学校を訪問しました。

参加者は杉原一三代表をはじめ、小嶋英毅、青木真奈美、喜多川直子、上田和夫の五名、前夜来の雨で、クンタ村までしか車が行かず、ガハテ村までの山道を一時間かけて歩いて登りました。

学校は夏休みでしたが、全校生徒が臨時登校して、例の通り首飾りのレイで歓迎を受けました。

持参したノートと鉛筆、篠山中学校生徒の手紙（ネパール語訳）の贈呈をして授業



持参したノートと鉛筆を贈呈し校長と握手する杉原代表

参観をしましたが、遠来のお客様の前では、先生も生徒も緊張気味、気が散って平素の授業とはいかないようでした。

図書室整備の要望が出ていましたが、ライブラリーに予定されている教室には、書架も閲覧机も無く、学習机の上に少しばかりの本が積み上げてあり、天井に張り渡したロープに万国旗のように書籍が引っ掛けられているという、異様な光景でした。

図書の充実の前に、図書室をきちんと管理できる環境の整備が先ず必要であると痛感しました。

今後の支援交流へ向けて

セ小運営支援連絡会議を開催

二十四日はクンタ村のSSS事務所まで、泊、二十五日八時過ぎより十二時過ぎまで、事務所のミーティングルームでセ小運営支援連絡会議を持ちました。篠山ナマステ会五名、SSS、学校運営委員会、教員等十六名と通訳のカルマさん。更に二十八日も宿泊のペンションバナサナにSSSのピスタ氏と通信員を呼んで、今後の支援交流について、腹を割った協議を重ねて来ました。

長時間に及ぶ真剣な討議の全容をお伝えし切れませんが、要点をQ&Aで収録します。



校長先生から授業内容の説明を受ける喜多川さん

Q、教職員の現状と将来の見通しについて。

A、教員定数は生徒四十名に一人。本来なら四人配置のところ現在は政府派遣の教員は校長一人、あと一人は郡教育事務所任命の女性教師、後の三名は、篠山ナマステ会とSSSで給与を負担している。

今後の見通しについては、教育事務所へ度々陳情し、交渉しているが、その時になつてみないとわからない状態である。

Q、教員の研修充実について。

ネパールへのご旅行 ご視察は

JTB 特定パートナー店
株式会社 **みずほ** トラベルへ

〒669-2332 兵庫県篠山市北新町95-2
TEL 079(552) 4488 FAX 079(552) 5689

和洋庭園設計施工・工場緑化・土木工事一式
篠山市上下水道排水設備指定工事店

石井造園緑化株式会社

兵庫県篠山市東吹 709
TEL (079) 594-0227 FAX (079) 594-2537



SSS事務所では文字通り膝を突き合わせての連絡会議

A、校長は研修の機会があるが、他の教員にはない。政府による研修の機会がラジオで報道されたりするので、機会を作りたい。また郡教委に研修の先生を要請し、これが正規のものとして登録できるのか、確かめた。

Q、学校が出来て、村人の生活意識がどのように変わったのか。

A、今まで女の子には学校教育の必要を感じていなかったが、今では、女の子も含めて児童の就学率は一〇〇%、学ぶ子どもの姿を通して、親たちが教育の大切さを実感として感じている。

Q、小学校は無償で通えるが、子どもを中学校に通わせるために年間どれだけの費用がかかるのか。

A、六年生(中学一年)で年に六千ルピー



ペンションバサナでバラト・ビスタ氏、通信員との協議

(約一万円)一〇年生で一萬ルピー(一萬七千円)学年が進むほど高くなるので、中学進学を断念せざるを得ない子ども達もいる。

Q、ガハテ村の住民生活について、農業の現状を知りたい。

A、水源が少ないので、殆どが天水頼みのトウモロコシ主体で、年間の収穫量で家族の食糧が賄える家が約二〇%しかなく、後の八〇%は何らかの方法で生活の糧を得るために働きに出たり、クンタ村まで水牛の乳を売りに来ている。

Q、家畜の糞尿で堆肥を作り肥料として利用できるのか。

A、農業のやり方について、教育を受けていないので、先祖代々受継いできた農業を引き継いでいる。

Q、急傾斜地の段々畑に栽培されている

トウモロコシの現状を見る限り、少々収穫量を上げて根本的な解決にはならないと思う。新しい発想で換金作物の導入を考えてみては。

A、先祖代々ずっとトウモロコシを作り続けていて、新しい農業のやり方に挑戦する意欲も無く、アドバイスしてくれる指導者もいない。

Q、同じバランチヨーク郡で梨やコーヒーの栽培を手がけている所があるという情報があるがどうか。

A、少ない畑からトウモロコシの作付けを減らして換金作物を栽培する余裕が無く、梨にしてもコーヒーにしても収穫を上げられるまでに最少五年かかる。それまでどうして生活を繋いでいくのか。

Q、SSSでもっと積極的に農業の改善指導をリード出来ないのか。

A、これまで村の農業について充分話し合ったことは無く、今後、SSSとしても村人の意識変革を促していきたい。ただ、彼らの意識、資金、農業技術で問題がある。何よりも大事なのは、住民の生活改善意欲であり、要望の無いところに押し付けで指導に入れない。

Q、篠山ナマステ会にもその議論をメールで伝えて欲しい。通信員も学校の情報だけでなく、住民生活の課題、情報をもっと伝えて欲しい。そのうえで篠山ナマステ会として何が出来かを検討したい。

A、今後、できるだけそのようにしたい。

Q、子どもを中学に進学させるために、年間六千ルピーがどうしても欲しい。そのた

成人式の振袖レンタル、着付予約承ります

(有) タバタ美容室

篠山市河原町2-1 TEL 552-2290

サンセブン美容室

篠山市日置37 TEL 556-3707

笑顔のくらしは水まわりの改善から

篠山市：指定給水装置工事事業者 下水道排水設備指定工事店

SUN サン設備工業株式会社

営業所 〒669-2526 篠山市向井字西下河原647

TEL (079) 557-0400 FAX (079) 557-0401

地域活動で資金集め

篠山ナマステ会をアピール

デカンショ祭り街頭募金

デカンショ祭りでは八月十五、十六の両日、篠山鳳鳴高校インターアクト部の皆さんのご協力で、セティディビ小学校運営資金の街頭募金を行いました。

両日共、三十度を超す炎天下、あてやかな浴衣に着替えた娘さんたちの懸命な姿に、道行く人も思わず立ち止まって募金に応じてくれました。特に、子どもさんが、なげなしの小遣いの中から、募金箱にコインを入れてくれる様子に感動しました。本当にありがとうございました。



街頭募金、ご協力ありがとうございました。

愛のえんにちに参加

八月二十六日、四季の森広場で開催された第八回の「愛のえんにち」に参加しました。市内の障害を持つ人たちの仲間や、共に支え合うボランティアの熱意に、折からの雨も遠慮して通り過ぎました。篠山ナマステ会のテントでは、会員の皆さんから寄せられた家庭用品バザーが、大変好評でした。



愛がいっぱい、ナマステ会のテント

会員の皆様へお願い

篠山ナマステ会は、活動の根本理念を、故岩村昇先生が提唱されたPHD運動にならっています。

岩村先生は「ネパールの病根は深いところであり、栄養、衛生、農業、教育、女性解放などの重い課題に、現地の人自らが取り組むことこそが、遠回りで近道である。そのため自分の持てる知識、技能、労力、財などの一〇%のご協力をお願いしたい」と説かれました。

その岩村先生の理念に共鳴した仲間が、「篠山ナマステ会」を結成し、多くの市民の皆様が浄財をお願いして、ネパールの山村ガハテ村に小学校の建設、運営の支援をしてきました。結成から六年を経過した今、会員数は殆ど減少していません。これは岩村先生の理念が篠山の地にしっかりと根付いている証拠であると思っておりますが、ただ、その思いを行動に移すボランティアの裾野が広がっていない。それが唯一の悩みなのです。

地域活動でも平均年齢六〇歳を超えた、いつも同じ顔ぶれの幹事が、東奔西走して会の活動を支えているのが現状です。篠山ナマステ会が篠山市民の理解を得て、永く続いていくためにも地域活動は欠かせません。今後色々な場所で篠山ナマステ会の青い旗がお目に留まったら、立ち寄って激励し、一緒に参加して下さい。あなたの行動が、あなたの人生をより豊かにすることを信じて、改めてお願いいたします。

高い技術力があるからこそ、美しいものが仕上がります。そして、幅広くお客様のニーズにお応えします。

森本誠文舎印刷所

〒669-2211 兵庫県篠山市大沢新115
TEL. (079) 594-1151
FAX. (079) 594-2607
E-mail: msiprint@apricot.ocn.ne.jp

総合印刷

藤本印刷株式会社

FUJIMOTO PRINTING CO., LTD

本社 篠山市糯ヶ坪 8-1
TEL (079) 552-0320



ネパール研修ツアーの参加者を募集します

ガハテ村の子ども達に逢いに行きましょう

この足でネパールを歩き、

この目でヒマラヤの雪山を眺め、

この手でガハテ村の子どもたちと握手をして、

「ナマステ」と挨拶がしてみたい

◆◆ 趣 旨 ◆◆

今から7年前、PHD研修生バラト・ビスタ氏が帰国後立ち上げた生活改善グループ「SSS」と、篠山の支援グループによる交流の中から、ガハテ村に小学校建設支援の話が具体化しました。

そして「篠山ナマステ会」が結成され、ガハテ村民の大きな期待と、多くの篠山市民や市内の小・中・高校生たちの熱い思いの坎パによって、セティディビ小学校が建設され、竣工式には、村の歴史始まって以来という祝福の渦の中で、篠山ナマステ会のツアー一行が大歓迎を受けました。

あの日以来、ネパールの政情不安と治安の悪化から、小学校訪問・交流のツアーが実施できませんでした。

この4月、度重なる大衆行動によって、遂に国王は独裁政権を投げ出し、マオイストも休戦に合意して、平和が戻った街は、民衆の笑顔が溢れ、活気に満ちています。この機会を逃さずに下記の通りネパール研修ツアーを計画しました。

◆◆ 日 程 ◆◆

- ① 実施期日 2007年1月8日～16日（8日間）
- ② 募集人員 最大15名（会員及び一般から募集）
- ③ 募集期間 2006年10月1日～10月31日
- ④ 費用概算 20万円程度（ビザ申請審査料・海外旅行保険料を含む）

⑤ ツアー内容

私たちが5年間にわたって運営支援を行ってきたセティディビ小学校を訪問し、生徒やガハテ村の人たちとの交流・記念植樹などのセレモニーを予定しています。

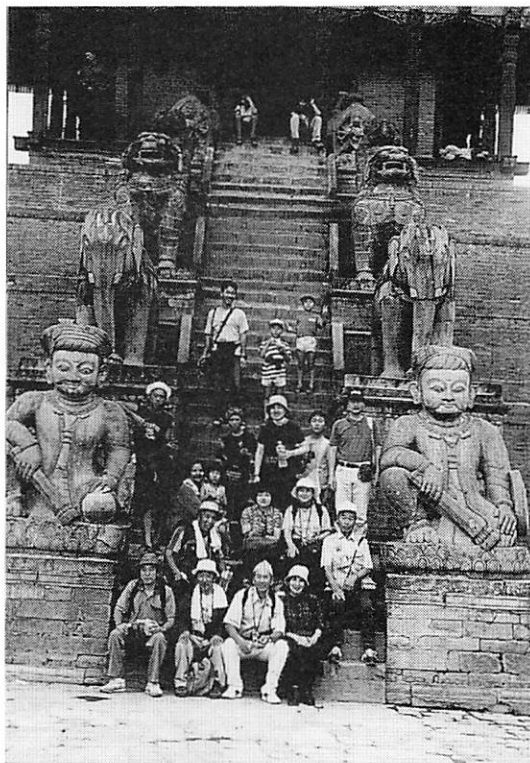
ネパール第2の都市ポカラでPHD協会の研修生との再会と、ヒマラヤ・アンナプルナ連峰を望むペワ湖観光。

首都カトマンドゥは歴史の街。赤煉瓦の寺院や名所を訪ねて、ネパールの文化や風習について理解を深めます。

⑥ 事前研修と説明会

申し込みをされる方は事前にパスポートの用意、確認をして下さい。

詳細は参加者の確定次第、出発までに2回程度、説明会と事前研修を行います。



すべてはここから始まった
(1998年PHD協会スタディツアー)

編集後記

ご覧の通り、活動資金にご援助いただくため『ガハテ村通信』に企業からの協賛金をお願い致しましたところ、快く引き受け頂き、ありがとうございました。改めて御礼申し上げます。

ネパールに平和が戻って、久しぶりにガハテ村を訪問し、現地関係者とかかなりの時間をかけての連絡会議を通じて、ガハテ村の暮らしが少し見えてきました。

限られたスペースの中で何処までお伝えできたか心もとない気がしますが、これからの交流活動に大きなヒントを得られたと思います。

今号でご案内していますセティディビ小学校訪問のスタディツアーに、是非ともご参加いただき、直接ネパールを体感して頂きますよう、お願い致します。